

2023年4月27日

各位

会社名 マクセル株式会社  
 代表者名 取締役社長 中村啓次  
 (コード番号: 6810 東証プライム)  
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション本部  
 広報・IR部  
 (TEL. 03-5715-7061)

### 2023年3月期の個別業績実績と前期個別業績実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期の個別業績実績について前期の実績と比較して差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期の個別業績実績値と前期個別業績実績値との差異

(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2022年3月期実績 (A)	44,100	1,176	1,553	△23,924	△483.72
2023年3月期実績 (B)	82,196	1,694	8,320	8,141	171.38
増減額 (C)=(B)-(A)	38,096	518	6,767	32,065	
増減率 (%) (C)/(A)	86.4	44.0	435.7	-	

#### 2. 個別業績実績値と前期個別業績実績値に差異が生じた理由

(売上高及び営業利益)

当社は2021年10月1日付で当社を存続会社、子会社であったマクセル株式会社を消滅会社とする吸収合併を行い、持株会社体制を解消しました。売上高及び営業利益の増加は、主に当該吸収合併により当社の事業内容が変化したことによるものです。

(経常利益)

営業利益の増加と比較して経常利益の増加が大きくなっていますが、主に当社グループ会社からの受取配当金6,284百万円を計上したことによるものです。

(当期純損益)

前期は、抱合せ株式消滅差損 15,236 百万円及び投資有価証券評価損 10,312 百万円の計上により大きな損失となりました。一方で、2023 年 3 月期は、2024 年 3 月期以降の日本国内向けコンシューマー製品販売事業の業務提携開始に向けた一時的な費用やライフソリューション事業の固定資産減損損失の計上、法人税、住民税及び事業税や法人税等調整額の増加があったものの、2023 年 1 月 31 日付「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表の固定資産の譲渡に伴い発生した譲渡益 1,372 百万円の計上もあり、当期純損益が前期と比較して大きく改善したものです。

以 上